



第1回八戸地区安全講習会が行われました

安全第一



8月27日(木)、今年度第1回目となる八戸地区安全講習会が行われました。今回対象となった工事は洋野階上道路の「藤沢地区道路改良舗装工事」と「階上地区道路改良舗装工事」の2件で、発注者及び各工事の現場代理人等、約30名が参加しました。

今回は、八戸国道出張所の安全講習会の内容についてご紹介します！

安心
安全

そもそも安全講習会とは???

安全衛生の推進のため工事請負者が主体的に合同で現場を点検し意見交換を行う取り組みです。



①現場点検



②検討会



③安全講話

■①現場点検■

参加者が2つの班に分かれ各現場の点検を実施しました。安全パトロール点検表をもとに、現場の緊急体制や、事故防止措置が十分にとられているか、また夏の事故への対策がとられているかなど、入念に点検しました。

■②検討会■

現場点検を終え、場所を変え点検結果をもとに各班ごとに検討を行い、検討結果を各班の代表者が発表しました。

検討結果は、青森河川国道事務所が発注する八戸地区の全ての工事現場へ持ち帰り、安全衛生対策の向上に役立てられます。

■③安全講話■

検討会を終え、青森河川国道事務所 工物品質管理官より、「工事の安全対策について」と題して、講話をいただきました。



～安全パトロールの後、作業現場が改善されました～



速度が出やすい。



速度制限の看板を設置し、速度超過による事故を防止できる。



扇風機用発電機が熱をもって発火するかもしれない。



消火器を設置することにより、発火による危険を防止できる。



カラーコーンだけでは現場に歩行者が入ってしまう。



コーンバーを設置することにより、歩行者が入らないように明示できるだけでなく、安全が守られる。



足下が凸凹状で安定していない



平坦になったことで、歩行者が安全に歩くことができる。



今回出ました意見や、安全講話の内容を踏まえ現場での作業が安全に行われるように、継続して安全に努めます！